



■発行/桜井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28
 ■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451
 ■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail sakurai@sakurai.click
 ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> **討議資料**



若くて健康な人の体にも1日数千個ものがん細胞が発生するそうです。これらのがん細胞や悪質なウイルス等を退治しているのはリンパ球の一種であるナチュラルキラー(NH)細胞です。笑うと情報伝達物質ペプチドが活発に生産されてNH細胞表面に付着。NH細胞が活性化され免疫力が高まります。逆に悲しみやストレス等は免疫力をパワーダウンさせるそうです。『笑う門には福来る』は、先人の知恵そのものと言えます。問題山積の今こそ、熱い議論の末には**笑顔**で市職員や市民の皆様と、市民サービスと事業推進を評価しあえるよう努力してまいりたいと考えています。熱い日が続きます。どうかご自愛ください。

一、小中学校統廃合における課題

(1) 検討部会の会議録を確認

南小学校・高浜小学校・三村小学校・関川小学校の統合に向けた協議を進める中で、検討部会が統合小学校の名称を「石岡みなみ小学校」とした事に、各方面から疑問の声が出ている事がわかり、文教厚生委員会に経過を報告するよう求めました。教育委員会によれば、保護者と地域の方々への学校統合に関するアンケート調査では、校名を**約72%の方が南小学校で選択**。しかし、名称を協議する部会は「石岡みなみ小学校」を選定。

学校名は、条例規定のため市議会の議決事項です。新名称とした理由が不可解であることから、文教厚生委員会として会議録の提出を要求しました。

(2) 決定過程に疑問が...

提出された会議録は、総務・庶務部会II5会議、統合検討委員会II1会議。委員構成は、PTA会長及び副会長、教職員、地域代表(区長等)の24名となっています。

会議録を確認すると、名称変更が無ければ、新たな体操着等の購入に対して市が支援可能であり、校歌・校章の変更費用も発生せず、保護者と市の負担が減る事が明らかになっています。しかし、特定の委員が新名称に強く拘る言動が続き、意見を集約できず多数決となったようです。**出席委員15名の挙手による多数決は、石岡みなみ小6名、南小3名、棄権6名(全て教職員)**となり、石岡みなみ小学校を選択。委員総数の25%の賛成で、アンケート72%の意見を覆す結果となりました。

(3) 校名変更について再検討を要請

各委員からは、名称変更合理的な理由が感じられず、意思決定過程に疑問点がある事が指摘され、教育委員会に対して検討部会の委員の方々と再度よく話し合うことを求める意見が出ました。

一、国民健康保険について

(1) 賦課方式の変更

令和4年度から県内全市町村で、国民健康保険税の賦課方式の見直しが行われました。

石岡市においても4方式(所得割・資産割・均等割・平等割)を改め2方式(所得割・均等割)による税額算定を行っています。

これまでは、市外に資産を有する場合、市が把握できず課税対象にできなかった事から、資産割を無くすことで、所得に応じた、より公平な課税計算としています。

(2) 基金繰入れによる軽減措置

令和4年度は、賦課方式の変更に伴い、各家庭の所得状況に応じて税額の増減が発生する事が想定されるため、税額の急激な増加を抑えるために、国保会計基金の一部を国保会計に繰入れ、税額軽減を図る緩和措置を行っています。

(3) 特定検診未受診者への対応

特定検診とは、40歳以上74歳以下の国民健康保険加入者に対して実施している検診です。検診項目は、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査となつていますが、受診率の低さが大きな課題となつていました。

そこで、特定健康診査データあるいは医療機関利用時のレセプトデータ等の分析を、人工知能(AI)を用いて行い、人間心理に働きかけ、行動変容を促す(ナッジ理論)を活用した効果的・効率的な受診勧奨を実施いたします。受診勧奨通知が届いた方は、是非、検診を受診してください。

項目	被保険者数	世帯数	調定額(円)	一人当たり(円)	世帯数当たり(円)
R03年度	18,058	11,174	1,629,688,900	90,247	145,847
R04年度	17,481	10,986	1,474,480,500	84,348	134,215
増減	△577	△188	△155,208,400	△5,899	△11,632

三、第2回定例会で行った一般質問

(1) 複合文化施設について

複合文化施設を令和7年度竣工予定として計画が進んでいますが、設置場所、施設の規模等が未定。事前調査委託は遅れ、基本計画案も示されていません。どのように事業を進めるのか伺います。

(1) 複合化する施設について伺う。

にぎわい創生担当理事答弁要旨 文化ホール機能、図書館機能を核とし、市民活動スペース、市民ギャラリー・展示スペース、デジタル情報発信スペース等に加え、共有スペースを活用して、フリー活動スペース、ふるさと情報コーナー等の機能を備える計画となっている。

建設候補地は、イベント広場と駅東地区の2カ所。早期に議会へも示し、市民説明会、パブリックコメントを経て、9月を目途に、建設地を含めた基本計画を確定させていきたいと考えている。再質問 民間委託調査は駅東地区だけでなく、今さらのアンケート調査など、後出しジャンケンのようなものである。内々では駅東地区に決まっただけで既成事実を積み上げているように見える。いたずらに時間と経費を浪費しているのではないか。

担当理事答弁要旨 議員ご指摘の通り、後出しジャンケン的な部分がある。2カ所を比較検討しており、内々には決まっていない。

(2) 施設の規模・形状について伺う。

担当理事答弁要旨 現施設から想定している床面積は約1万2千㎡。取り入れる機能は細部の調整をしている。市民ホールの席数は大ホールで1050席としている。

2つの候補地で想定した場合、駅東地区では、3階建て、駐車場は立体化で3階から4階を想定。イベント広場は、埋蔵文化財宝蔵地のためベタ基礎で2階建てが想定される。

(3) 複合文化施設の概算費用について伺う。

担当理事答弁要旨 同等施設の概算標準単価は平米70万円。約1万2千㎡を掛け、駐車場等の周辺整備を加えると100億円を超えることが想定される。

再質問 発掘費用と期間についても説明願います。
教育部長答弁要旨 イベント広場の発掘費用は、直近2件の委託調査の平米単価は約1万6千円。2階建てを想定すると約9千6百万円の費用となる。期間は、1年半程度必要と見込まれる。

再質問 当初予定は、基本設計と実施設計を令和4年度中に実施としており、発掘期間を設けていない。約70億円の市役所本庁舎は基本設計と実施設計に2年間かけており、無理な計画案ではないか。

駅東地区建設案とイベント広場建設案の2案を議会に示していただきたいが、市長の考えを伺う。

市長答弁要旨 石岡駅に複合文化施設があった場合とイベント広場につけて駅に無い場合を考えると、駅周辺の賑わいを作っていくためには何らかの求心力を高める施設が必要と考える。

(4) 複合文化施設建設担当組織について

担当理事答弁要旨 6名体制で業務を行っており、複合文化施設担当は課長補佐、係長、係員1名が中心となって業務を進めている。課全体が必要に応じて業務を振り分ける調整を図っている。

再質問 複合文化施設以外にも大きな事業を抱え、その事業の中には議会から見直しを求められているものもある。今回繰越も出している。既に業務過多となっており、大至急、組織を強化しないと禍根を残すことになりかねない。市長の考えを伺う。

市長答弁要旨 業務を精査して、組織・人材の強化を進める。

提言 今更、業務の精査は違う。複合文化施設だけを担当する理事が参事を入れていただきたい、速やかに動いていただきたい。

(2) 少子化対策について

2021年生まれの赤ちゃんの数は統計開始以来最小である81万人余。この50年間の統計では、一組の夫婦から生まれる子どもの数は2名で推移しているが、合計特殊出生率は50年間で2.1から1.3に低下している。石岡市は統計データを読み解き、どのように少子化対策を進めるのか伺います。

(1) 少子化対策の現状について伺う。

保健福祉部長答弁要旨 石岡市は、第2期子ども子育てプランを策定し安心して生み育てる環境づくりを進めている。不妊治療費の助成、新婚世帯への家賃補助、満1歳未満児への紙おむつクーポン券等、多彩な支援事業を実施している。

(2) 統計データから少子化対策をどのように分析しているのか。第3次ベビーブームが無く女性の数が減ったこと。結婚年齢の上昇あるいは結婚しない方の増加等についてどのように考えているのか伺う。
生活環境部長答弁要旨 結婚に向けて出会いの機会を設けることが大切と考えている。いばらき出会いサポートセンターと連携し、出張相談、登録会の開催や市報の広報活動を行なっている。

再質問 いばらき出会いサポートセンターは、AI技術で登録者をマッチングさせ、昨年結婚に至った数は2.5倍と報道された。石岡市は昨年3月議会で『サポートセンターを活用して』と答弁しながら、3月末でサポートセンター登録料支援を止めている。言行不一致と見えるが市長の考えを伺う。

市長答弁要旨 議員ご指摘の通り、適切なサポートで、若い世代の結婚、出産が希望する年齢でかなう環境が整う。サポートセンターは実績をあげているので、石岡市も加わりながら、結婚した人にもインセンティブできる仕組みを作りたい。市では担当部所が分かれているので、組織を強化しながら少子化対策、結婚対策に取り組んでまいりたい。

四、第2回定例会で行った議案質疑

(1) 一般会計補正予算第12号

① デジタル商品券発行実証事業の内容を伺う。

市長公室長答弁要旨 マイナンバーカードを所有する市民が、スマートフォンを利用し、デジタル商品券を購入すると、最大5千円の購入に対して40%上乘せし7千円分の商品券を購入できるもの。利用期間は12月から来年2月で調整している。事業効果を高めるためマイナンバーカードを取得しマイナポイント申請を支援する。さらに総務省が進めている統一QRコード(JPQR)を導入する事で、複数のQR決済サービスを1枚のQRコードにまとめ利便性を高めるもの。

再質問 複数の事業と連携する複雑な仕組みのようですが、実証事業委託団体について伺う。

市長公室長答弁要旨 マイナンバーカード本人認証や統一QRコード決済サービスを利用できる事業で、国内では数社。県内では例が無くこの事業の組み合わせは全国初の事業となる。

② マイナポイントの普及促進事業について伺う。

市長公室長答弁要旨 マイナンバーカード普及促進に向けて、国が主導するマイナポイント第2弾が実施されることを踏まえ、カード取得とポイント取得手続きを支援する事業。デジタル商品券実施事業と併せて、マイナンバーカードの普及促進を図る。本庁舎及び八郷支所に支援員を配置して申請手続きを支援する。

③ TX延伸推進に関し、本庁舎の横断幕を目立つ場所へ変更できないか伺う。

市長公室長答弁要旨 関係部局

と調整し今月中に設置する。

※議事終了後、本庁舎駐車場側の横断幕は移動されました。



五、複合文化施設建設特別委員会

(1) 特別委員会設置の背景

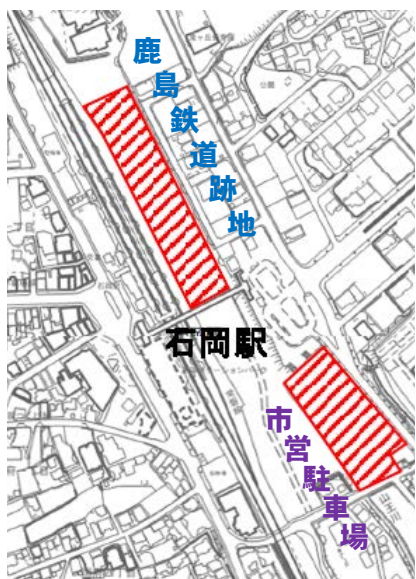
予算特別委員会(3月開催)では、複合文化施設建設が大幅に遅れている事実。6月定例会の一般質問では、執行部の答弁に一貫性が無いこと。さらに常任委員会では審査が進んでいないと思われる状況もあり、議員全員で複合文化施設建設だけを審査すべきとの機運が生じました。

そこで、6月定例会最終日に「複合文化施設建設特別委員会」設置を賛成多数で可決し、複合文化施設建設特別委員会が設置されました。

(2) 施設設置場所を駅東地区と提案するも

7月に入り、第2回委員会(7月2日)では、6月定例会の一般質問答弁とは裏腹に早々と執行部から、建設地、事業手法、整備基本計画(案)について関係資料の提出と説明がされました。

建設地は駅東地区。事業手法は民間資金を活用し財政負担が平準化するPFI(BTO)方式を採用。石岡市営駐車場用地に地下1階・地上3階の複合文化施設を建設。鹿島鉄道跡地に地上4階建ての立体駐車場(450台収容)を建設。建設費は122億円、うち一般財源は約62億円。施設の維持管理経費は年間約4億円を想定しているとの説明でした。



鹿島鉄道跡地に立体駐車場
市営駐車場に複合文化施設

(3) 提出資料の信用性が低下

第3回委員会(7月12日)では、建設地の選定検討結果報告書について「駅東地区を適地とするため、イベント広場の評価を下げ、駅東地区評価を上げる記載があり、恣意的な評価ではないか」と質問。担当職員は、「確かに恣意的な表現でした」と認めたため、これにより市の説明と提出資料の信用性に疑問符が付くことになりました。

(4) 議会からは否定的な意見が多数

第4回委員会(7月20日)では、市主催の市民説明会で、参加市民から場所について反対意見が多数出た事が指摘されました。議員からは、誰のための施設なのかといった意見も複数出ています。第5回委員会(8月9日)には市長が出席し、『中心市街地の求心力を高め、中心地に賑わいを。そして、石岡市の歴史・文化を守り、しっかりと次の世代へ引き継いでいく。その役割を担うのが「複合文化施設」である』との思いを熱弁しました。これに対して議員からは、公設公営による施設建設を求める意見。事業の拙速な進め方は、議会軽視との厳しい意見が出ました。

また、関係経費の財源内訳資料に5億円の記載ミスが判明し、職員が謝罪に迫られました。私が判明し、職員が謝罪に迫られました。私が、複合化による金額的な削減を質問すると「算定していない」。維持管理経費は現行2億円だが、新施設では4億円(全て一般財源)。という驚きの答弁がされました。さらに、9月定例会に関係予算を提案したいとの説明に対して、議員の質問に満足な回答が無い。提出資料は間違いだらけ、強引に事業を進めるのかという議員の声で溢れる中、4時間を超える委員会を終了しました。

市長も議会の生の声を聴き説明不足を感じたのか、議会運営委員会での9月定例会議案内示(8月17日)段階では提案を見送っています。

六. 筑波山地域ジオパーク

(1) これまでの経過

大地の公園と言われるジオパークは、貴重な地形・地質とそれらを作り出す美しい自然景観を見ることが出来る自然公園です。筑波山地域ジオパークは、国内で41番目の日本ジオパークとして、2009年9月に誕生しました。エリアは、石岡市・笠間市・つくば市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市からなり、茨城県の約20%の面積に相当。筑波山、霞ヶ浦や日本最大の平野である関東平野など、日本を代表する大地の遺産を有しています。

エリア内には26か所のジオサイトが指定されており、石岡市内では①八郷盆地、②龍神山・波付岩、③我国山・愛宕山、④峯寺山・十三塚、⑤高浜の5か所が指定されています。

(2) 6市議会議員連盟協議会総会

7月29日、つくば市役所で開催された6市議会議員連盟協議会総会に出席しました。予算案及び事業計画案を承認。また、ジオパークを活用した地域活性化の状況報告を受け、石岡市では、ふるさと学習の中で気候風土を生かした果樹栽培等について学習している様子が紹介されました。

総会では、筑波山地域ジオパークを活用し、地域活性化を進めようとの意見で一致しました。

(3) 中核施設の設置について

筑波山地域ジオパークの中核施設として、旧筑波東中学校（つくば市北条）校舎を活用して施設整備が進められています。オープン予定は、令和5年10月下旬を予定しています。

施設では、①五感を使った体験・探求型展示施設として『大地と自然・文化のつながりを学べる実験・観察イベント』、②ジオツアー案内&ジオ認定商品の販売、③認定ジオガイドによる解説。等のサービスを予定しているとのこと。

七. 山東昭子参議院議長訪問

私の市議会議員立候補の際、応援に駆けつけていただいた山東昭子参議院議員は2019年8月、臨時国会で満票を獲得し参議院議長に就任。3年が経過し、この度の参議院議員選挙後の臨時国会で新議長が選出予定であることから、これまでのお礼も含めて議長在任中の7月中旬、表敬訪問の約束をさせていただきました。茨城県第6区選出の国光あやの衆議院議員のご案内により、参議院議長公邸を訪問しました。

最初に自民党本部を見学させていただきました。幸いなことに自民党総裁室では、総理の椅子にも着座を許されたところです。

次いで、国会議事堂内を見学。明治期の議員は馬車で登院しており、中庭の池で馬が水を飲んだとの話を伺い、歴史を感じたところです。議員食堂で昼食後、第2議員会館の国光事務所を訪問、次いで参議院議長公邸に入りました。

議長公邸では、議長応接室と議長室にお邪魔させていただき、豪華なつくりに驚くばかりでした。

コロナ禍の影響で、外国人を迎えるのパーティー等も自粛することが多かったとのこと。元気凛々な山東議長の笑顔を拝見した1日となりました。



八. 今後の議会日程

(1) 第3回定例会

第3回定例会は、8月23日告示、開会は8月30日となります。今期定例会から、複合文化施設建設特別委員会が組み込まれています。議会運営委員会を除き、会議は全て午前10時開始予定です。一般質問は、議員一人30分の持ち時間です。日程表の黄色の会議は、石岡市議会ホームページから本会議を生中継で視聴できます。是非、臨場感あふれるやり取りにご注目ください。

録画放映は、会議後10日前後で視聴可能になる見込みです。こちらは繰り返し確認できます。

第3回定例会日程

月日	曜日	会議内容
8月30日	火	開会
31日~9月4日		休会
9月5日	月	一般質問
9月6日	火	一般質問
9月7日	水	一般質問
9月8日	木	議案質疑
9月9日	金	文教厚生委員会
10日・11日		休会
9月12日	月	総務企画委員会
9月13日	火	産業建設委員会
9月14日	水	複合文化施設建設特別委員会 議会運営委員会
9月15日	木	採決・閉会

(2) 決算特別委員会

令和3年度一般会計決算及び特別会計決算は、監査後、第3回定例会に提出されます。

そのため他市議会では第3回定例会中に決算審査を行います。石岡市議会では石岡のおまつりが9月中旬に実施される関係から、議会日程を確保できないため、決算特別委員会は『閉会中の継続審査』として9月末以降で実施しており、今回は、10月25日から28日の4日間を予定しています。

利点は、決算書提出から決算特別委員会まで期間があり、内容を十分確認できる事です。